治療スケジュール

E-36

*レジメン名	ｿﾞﾙﾍﾞﾂｷｼﾏﾌﾞ+CapeOX療法【継続】(21日間)(胃)
*投与量・投与日	ｿﾞﾙﾍﾞﾂｷｼﾏﾌﾞ 600mg/㎡ d1、ｵｷｻﾘﾌﾟﾗﾁﾝ 130mg/㎡ d1、ｶﾍﾟｼﾀﾋﾞﾝ 2000mg/㎡ d1夕～d15朝

*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(21)	d()	d( )	d( )	d( )	d( )	d( )
通常点滴注射 メインルート		生理食塩液	100	mL	30分	○							
		デキサート注射液	9.9	mg		○							
		アロカリス点滴静注235mg	1	V		○							
		パロノセトロン0.75mg注	1	V		○							
		ポララミン注5mg	1	A		○							
		1日1回											
通常点滴注射 メインルート		生理食塩液	50	mL	15分	○							
		1日1回											
通常点滴注射 メインルート		生理食塩液	270	mL/㎡		○							
	☆	ビロイ点滴静注用	600	mg/㎡		○							
		注射用水100mL	30	mL/㎡		○							
		1日1回											
		ビロイ1Vあたり注射用水5mLで溶解する											
		ビロイ2mg/mLに濃度調整											
		ビロイは払い出しの直前に調製する。入院の場合は病棟へ連絡し、投与開始時間を確認する。											
		2時間以上かけて投与すること											
		調製後、6時間以内に投与完了する											
		やむを得ず保存する場合は2-8℃で保存し24時間以内に使用する											
		0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用											
		無菌製剤処理料1											
		【投与速度】											
		最初の1時間は体表面積×37.5mL/hrで投与											
		次の1時間は体表面積×75mL/hrで投与											
		最後は体表面積×112.5mL/hrで投与											
		【悪心出現時】											
		悪心が出現した際は投与を中断せずにメトクロプラミド注10mg1Aを側管から投与する											
		悪心が続く場合、嘔吐が出現した場合は投与を中断する											
		回復後、症状が出現した際の投与速度より1段階前の速度で投与再開する											
		最初の1時間に中断した場合は、体表面積×18.75mL/hrで投与再開する											
		投与再開後、再開した速度から順に1時間毎に体表面積×(18.75→37.5→75→112.5)mL/hrの順で速度を上げる											
		再度、悪心嘔吐が出現した場合は投与を中断し、主治医の指示に従う											
通常点滴注射 メインルート		生理食塩液	50	mL	15分	○							
		1日1回											
通常点滴注射 メインルート		5%ブドウ糖注	250	mL	2時間	○							
	☆	オキサリプラチン点滴静注液	130	mg/㎡		○							
		1日1回											
		無菌製剤処理料1											
通常点滴注射 メインルート		生理食塩液	50	mL	15分	○							
		1日1回											
		流し											
		休薬完了					●						
		以下別オーダー											
内服	☆	カペシタビン錠	2000	mg/㎡	d1夕～d15朝								
		1日2回 朝夕食後											
内服		デカドロン錠	8	mg	d2～4								
		1日2回 朝昼食後											
内服		オランザピン錠	5	mg	d0～4								
		1日1回 夕食後											